

ビジネス日本語教育実践で目指すべき人材像とは  
～日々の取り組みを振り返って考える～

第18回ビジネス日本語研究会

# 活動準備

18:30~18:40

インストラクショナルデザイン概要

# ID(インストラクショナル・デザイン)とは

「教育活動の効果と効率と魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して学習支援環境を実現するプロセスのこと」

「e-learning実践のためのインストラクショナル・デザイン」  
日本教育工学会誌29巻3号 鈴木克明

「何かをうまく教えるための技術と科学を扱う学問」

「上手な教え方の教科書」 入門インストラクショナルデザイン 向後千春

# インストラクショナルデザインの ゴールとゴール分析

どのような時（条件）  
どんなことが（行動）  
どの程度できればよいか（基準）

ゴール



それを達成するためにどのよ  
うなステップが必要かという  
分析を行う

ゴール  
分析

ゴール

日本人新入社員と同等の業務活動  
ができる日本語力を持った人材

ゴール分析

どのように関連しているのか

コミュニケーション  
スキル育成

言語能力育成

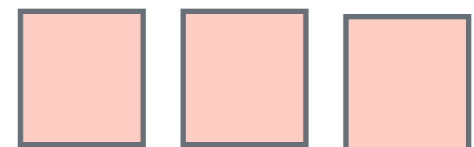
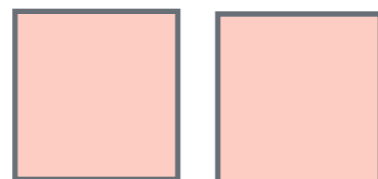
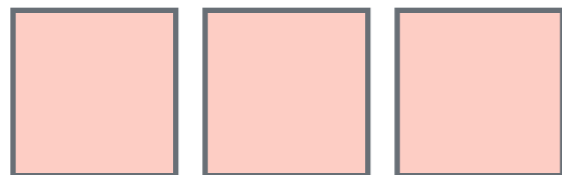
理解

運用

口頭での  
やりとり

記述による  
やりとり

背景となる  
文化の理解



# 本日考えたいこと

1 現在取り組んでいる各実践は、どのような理念のもとに行われているのか

→ 仕事の現場においてどんな行動ができる人になってほしいのか。  
そしてそれはなんのため？

2 その理念と実践の関係性がどのように構成されているのか

→ それにはどんなスキルが必要か。  
それは今の実践でどのように実現しているか。

3 その理念を実現させるために今の実践は何が足りていて何が足りないのか

→ それは今の実践でどのように実現していないか。

# 活動準備

18:40～18:50

自己紹介を兼ねて

自分の現場での実践を話す（グループ活動）

# <理想のコースをデザインしてみよう>

4人1組グループワーク

- 18:50-19:05** 理念や育成したい人材像を決めて  
明文化（キャッチコピーにもなる）する
- 19:05—19:15** 具体的な授業・コースを列挙する  
（フセン1枚につき1つ書くこと）
- 19:15-19:30** その授業・コースと理念をつなぐための  
説明カテゴリーを立てて、分類整理する
- 19:30-19:40** 全体をマッピング。理念を達成するための  
必要十分な授業・コースがあるか確認



# <理想のコースをシェアしよう>

説明者として1人グループに残り、他は他グループへ。

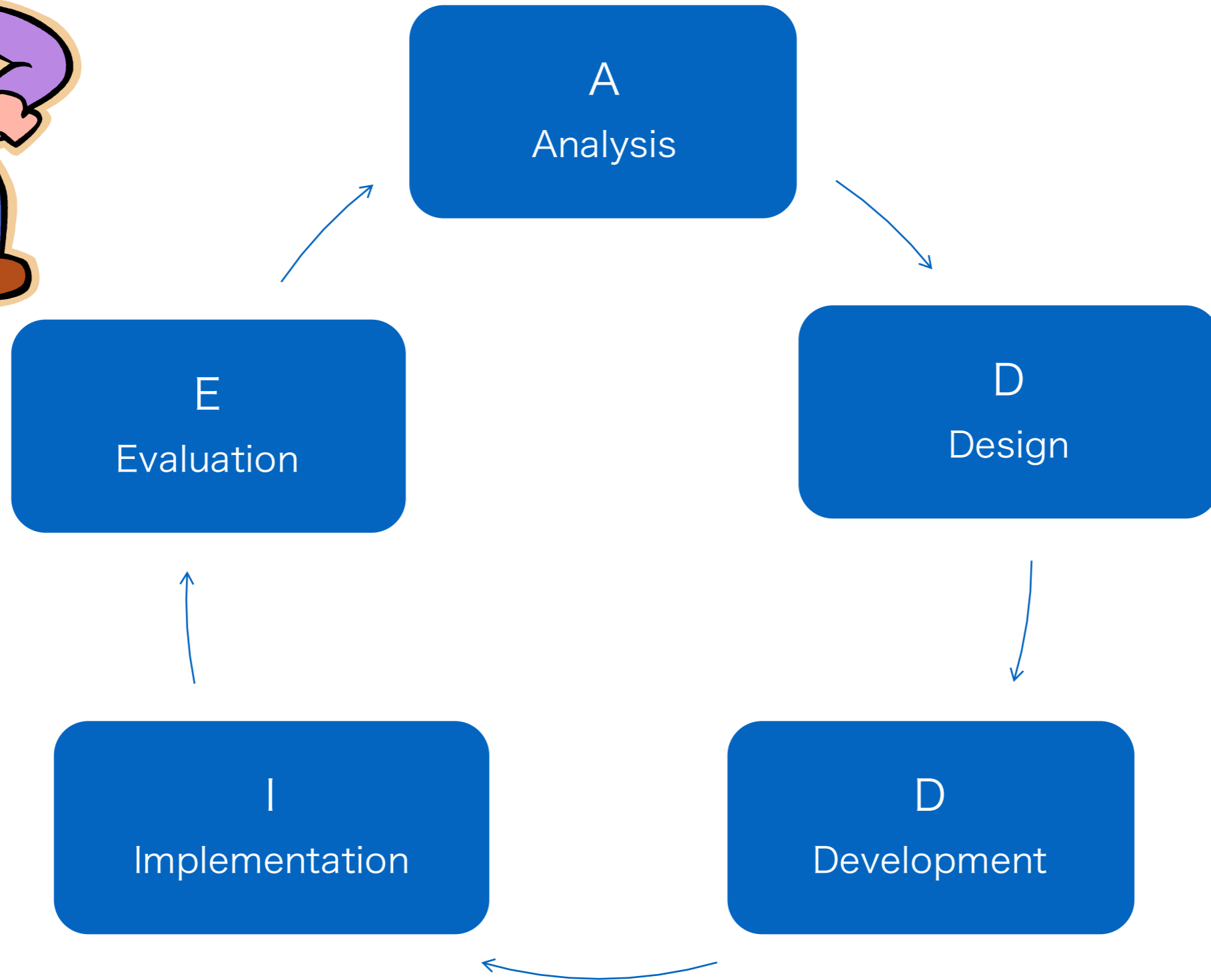
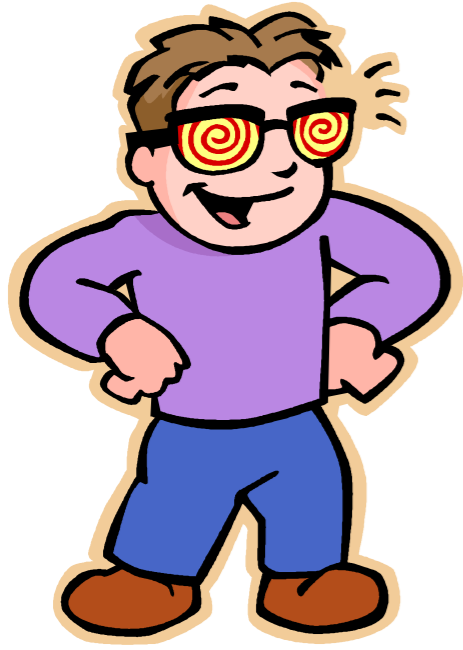
19:40-19:50 1回目

19:50-20:00 2回目

20:00-20:15 他のグループの話をシェアして必要に応じて自分達のものを加筆修正する。

20:15~20:30 ふりかえり  
「私は今日から何をするか」宣言  
気づきやモヤモヤを共有する。

# 今日触れなかったこと ～ADDIEモデル～



# 少し考えてみたいこと

- ・ 「教え（られ）ること」と「学ぶ／学べること」の関係
- ・ 「教室」と「社会／職場／インターンシップ」の関係

# 今日の成果物

- ・ 月末をめぐりに、ビジネス日本語研究会ホームページにアップします
- ・ 「ビジネス日本語研究会」で検索
- ・ トップページに「**ビジネス日本語研究会第18回研究会**は2016年6月17日に武蔵野大学で開催されました」とアップ

# 今後の予定

- ・ 2016年11月5日（土）神戸
- ・ 2017年3月ごろ ハノイ